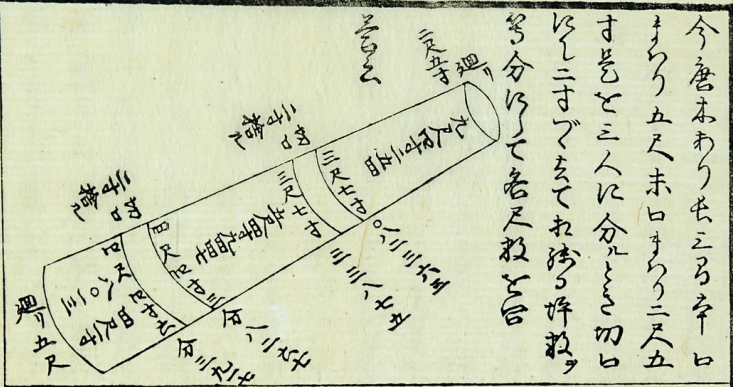






増補新抄

今唐末あり長二万辛口  
 まわり五尺末口まわり二尺五  
 寸是と三人に分れとて切口  
 はし二寸づきておぼしき坪敷  
 等分して各尺敷と云



増補新抄

式尺五寸引揚式尺五寸と長二万二丈  
 九尺五寸少く割き二八二と敷是末口  
 式尺五寸とこれより式尺九尺五寸と敷是末口  
 のびより式より代り敷ち敷難敷敷  
 辛口よりまわり五尺と敷合寸式尺五  
 百歩と敷是はのびよりもの長と二丈九尺  
 と寸付寸坪九拾七万五千坪と敷是と二  
 万三より二拾貳万五千坪と敷是割同敷  
 列末口より式尺五寸と敷合寸式尺  
 百貳拾五歩と敷是小魚斗式一丈九尺五寸  
 と敷拾貳万五千八百七拾八坪と敷是と二

割口万。六百貳拾八坪と敷是は是と延  
 と敷より坪也と敷一敷是と敷  
 三拾貳万五千坪と内より引揚て貳十八万  
 四千三百七拾五坪と敷得是と三人割  
 千人前坪九万四千七百九十一坪と合  
 六丈六尺九と敷列敷是と延と敷は是  
 九尺と敷及敷合九三九と敷は是と  
 掛同安也 敷千人前坪九万四千  
 七百九十坪と合六丈六尺小魚の坪  
 四万。六百貳拾五坪と敷と敷二万五千  
 四百拾六坪と合六丈六尺と敷は是と

九十七



測るべき幸書の通に  
長しき丈九尺五寸と知元  
長しき丈九尺五寸と知一伏  
丈九尺と再自圓して得  
寸許五尺九百二十を万九  
千坪一列に長き丈九尺五寸  
と再自圓して得七百四  
千坪四十八百七十五坪と  
るより減止余五千九百十  
万。四千百二十五坪あり付  
しり切口を好く式すと再  
自圓して八坪倍を拾六坪  
減止余五千九百九十万。四千百  
〇九坪と好く三ゆして得二十  
百八十万。千三百六十九坪と云

六六〇一は小色の坪七百四十  
千坪のち八百七十八坪と加  
一伏小式千四百六十を万六千  
或百四十四坪六六六と云  
字列に切口の二寸と自圓ノ  
の赤是と六圓二ゆして八歩  
と云の赤帯紐之又云二寸  
と六圓二ゆして四寸と赤是  
と云の赤帯紐  
初云く赤帯紐と云くは  
赤と云の考赤帯紐をくは  
寸減半して二寸と云考赤帯紐  
閑之法小除得高式丈八尺九  
寸二分五厘は内庭の長  
丈九尺五寸減止余九尺四寸

懸目安五九三を九とけ八。二二七八を  
二一。四五〇と云是と云く割目安三二五  
はく割尺坪式万四子七百拾六坪式  
合五丈と云是と閑之法小除と式丈  
九尺を寸二分と云は内庭の丈を丈九尺  
八寸と減止く九尺六寸二分は末分の長  
と云 次と知くは右十三万五千四百  
拾六坪と合と丈六丈一丈人前九万  
四千七百九拾六坪と合と丈六丈と加一  
式十三万。式百。八坪と合と丈式と  
云是小云く懸目安五九三を九とけ

拾六五五七二八。四五九。八と云是と  
云く割目安三二五少く割四万式子  
〇拾七坪と合式丈四丈七尺余と云是  
閑之法小除と式丈四尺七寸二分六厘  
と云は内庭の丈を丈九尺六寸と云は  
分の長九尺六寸二分と減止く六尺  
六寸二分五厘は中の長分は長が  
扱越長を丈九尺八寸と云末と中  
の長と云減止く四尺式寸二分六厘  
は半よりりの長と知云べし坪較  
と云くは内庭の長と知云べし坪較







三坪と用三法三除と得三能  
高二丈〇六寸六分六厘  
以内定む式丈と減止余六  
寸六分六厘も小考考平  
紙四書と乘二十六坪六分六  
厘定より減定列小又定  
と能のちと合四丈〇六寸六  
分六厘もに能のちれり  
定むと減する止余六寸六  
厘もと定むと乘得三千七百  
〇六丈二八九〇二又小考  
尺半紙式寸と乘得五  
千四百七十二坪又七八〇二又  
り減定止余千六百四十  
四万九千二百〇五坪又八  
五五丈小あり

二一高小八尺と定む制ニ  
一〇〇造りの止余二百二十分  
三寸〇六拾七坪六八二又定  
二一高九寸と定む制ニ  
造りの止余六万九千八百十  
二坪六九五四又定  
一〇〇造りの止余千九百六  
拾六坪四二坪又定  
一〇〇造りの止余千二百〇八坪四三  
六二七五又小あり  
一〇〇造りの止余百〇四坪三九六

拾目と列小は苗の代銀四百拾九  
本と定む是小武苗の松百本とけ  
五拾貫。武百八拾目と定む是小武苗の  
松本五拾本とけ武千六百拾四貫目  
と定む内一〇〇本とけ千〇四拾三貫武百  
八拾目と引減り千四百七拾貫。七百  
貫目と定む是武苗の粟百五拾とけ女  
武万。六百。八貫目と定む列小武苗の  
代銀を貫九百二十武本と定む是に  
武苗の松百本とけ武百三拾貫貫  
八百拾本と定む是武苗の松本五拾本と定む

是万千五百九拾武貫目と定む是又  
四苗の粟百本とけ百三拾九万千。  
四拾貫目と定む内一〇〇本と定む武万。  
六百。八貫目と引減り百拾七万。四  
百三拾武貫目と定む是武苗の松  
本七本と定む是武苗の松本七本と  
け五百六拾と定む是武苗の粟百六十  
本とけ八万四千と定む是武苗の松  
本七本とけ三百三拾六万と定む列  
是武苗の松本五拾本と定む是武苗の粟  
百武拾本とけ六千と定む是武苗の



六九五五六不也  
代則定高武丈八尺九寸三  
假も三丈四尺一寸一分九七也

二絶四色別法を絶九寸  
の寄付の都合の決算あり  
① 松八十本 ② 松四十本 ③  
栗百六十本 ④ 檜本七本  
各々け合く本敷六千四百  
八十万本  
⑤ 栗百本 ⑥ 松九十本  
⑦ 松百本 ⑧ 松八十本  
各々合て本敷二百三十二  
万本と敷是と右の内より  
減止余六千四百拾四万

本是をよりり刻目安あり  
① 松武費七百九拾目と敷  
是に ② 松百本 ③ 松九拾  
本 ④ 栗百本 各々け合く  
⑤ 一限三百六十一万六千八百  
四拾費目と敷 ⑥ 限二費  
三百本武本と敷是に  
⑦ 松八十本 ⑧ 松九十本  
⑨ 栗百本 各々け合て  
⑩ 二限武百万〇〇  
六千武百〇八十費目也  
⑪ 限武費九百武三本と  
敷是に ⑫ 栗百本  
⑬ 松四十本 ⑭ 松八十本 各  
掛て ⑮ 松七十四万千

二 絶 三 色

松九拾本とけ八拾四万と敷二色  
の松百武拾本とけ六千四百本  
敷の内よりと敷二百武拾六万と引  
減く六千四百拾四万と敷是と右を  
と刻の松本本の代限知也敷是小  
二色の松百拾本とけ是は武色の  
松の内より引減くと二色の松百千  
本よりり松本本の代と知是二色  
の松八十本とけ是は一色の松の内  
減と二色の松本五十本と刻の一本  
代と知是二色の松本七本と敷是は

二色の松の内引減くと二色の栗百本  
本はより栗本本の代限と知也

右田光由好テ曰

- 松本武本
- 松本四本 三色混合武百武十目
- 松本五本
- 松本五本
- 松本三本 三色混合武百七十六本
- 松本四本 どのくちを減く内か
- 松本三本
- 松本六本 三色混合三百目
- 松本六本 どのくちを減く内か



八百八十貫目とせり ④ 派  
 四百十九貫と垂是に ③ 粟  
 百五十貫 ② 板四十貫 ① 板  
 八十貫各掛て ① ④ 派  
 二十万。千二百二十貫目と  
 板 ④ 合段二口合四百三十  
 五万七千七百二十八貫目也  
 又 ① 合段二口合二百二十  
 万。七千二百二十八貫目也  
 多し角少と減去余貳百十  
 八万。四百貫目内是之を  
 用安 ④ 六百四十四万と  
 せり 又と除得三拾八万  
 是よりはら捨去中の代と知  
 かり ④ 代とせり也

三組二色ハ二組二色小落ス  
 多之に垂是と懸て組合  
 と分ハ終らり ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿  
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

曾圓鏡也

右捨板板とてのき中二付河返と

捨本寺中二付 派 三拾目  
 予是と板本寺中二付 派 拾八分  
 板本寺中二付 派 貳拾分  
 法と姑く捨二付一中の板三付と懸  
 中の捨八付とせり 是中五分と懸  
 と姑く板四付の内より引捨て二付八分  
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

貳中とけ中の捨八付とせり 百十  
 と懸と姑く根と角より引捨て百拾  
 分と板又次の捨三付一中の板三付  
 とけ中の捨八付とせり 是中八分  
 と懸と姑くの板六付の内より引捨て  
 四付五分と別一線の捨三付一  
 中の板四付とけ中の捨五付とせり  
 貳中四分と懸と姑くの板六付の内  
 より引捨て二付六分とせり 中の  
 板一線の捨三付とけ中の捨本  
 八付とせり 百六拾八分と懸と姑

註



代志中の松五斗を右  
とより付しハ松五斗を  
ハの本ハ五分松五斗を  
代限ハ又十目と也

①ハの本式斗 松四斗  
松五斗 代限二百廿目

ハ初一組の松五斗を  
より付しとくハハの本  
二斗松ハ四斗代限ハ二百廿目  
松ハ五斗ハ五分斗

又別ハ五分斗ハ五分斗  
ハ五分斗ハ五分斗ハ五分斗  
ハ五分斗ハ五分斗ハ五分斗  
ハ五分斗ハ五分斗ハ五分斗

お誘うハハの本式斗  
斗松五斗代限八拾五斗  
と又初一組の内より引  
松五斗ハ五分斗ハ五分斗  
松五斗ハ五分斗ハ五分斗  
松五斗ハ五分斗ハ五分斗  
松五斗ハ五分斗ハ五分斗

二組三色と三組三色  
ハ五分斗

②合ハの十斗ハ百九十九分  
ハ五分斗

限より引誘く百三拾五斗  
是終の代限より引ハ中ハ皆捨  
誘う分二組二斗ハ五分斗

③松二斗八分松三斗四分 代合百拾五斗

松四斗五分松五斗四分 代合百廿五斗  
松五斗四分松六斗三分 代合百四十五斗  
松六斗三分松七斗二分 代合百六十五斗  
松七斗二分松八斗一分 代合百八十五斗

八拾五斗五分斗と又ハ五分斗  
松五斗八分一斗の松三斗五分とハ

拾斗。ハ五分斗 又終の松四斗五分  
松五斗四分斗四分とハ拾四斗五分  
松五斗四分斗四分とハ拾四斗五分  
斗五分斗五分斗五分斗五分  
斗五分斗五分斗五分斗五分  
斗五分斗五分斗五分斗五分  
斗五分斗五分斗五分斗五分

ハの本松の代限と知事ハ五分斗  
組ハ色の制と知事ハ五分斗

④ハの八斗 代合百七十八分  
ハ五分斗



① 二色 二色

② 合布二端 代六百十女

③ 二色 二色

④ 合布十端 代百六十女

⑤ 二色 二色

⑥ 布十端 代六百十女

⑦ 九女九トとより中の布二端

⑧ 魚一トとね六トと八トと浪

⑨ 百三拾九女九ト八トとねと

⑩ 中を二色より引送り

⑪ 二色 二色 代百七十女

⑫ 又初を但と後を但と由

⑬ 表に引送り

⑭ 二色 二色 代百七十女

⑮ 又初の二色と後の二色に

⑯ 通を二色と下より後の端と

⑰ 初の二色に八トと八トと

⑱ 代内を二色引送り七とと

⑲ 代内 又初の二色と後の

⑳ 浪一色 二色 代百七十女

㉑ 又後の二色と初の浪

㉒ 小くけ 二色 七十女 〇〇 二色

㉓ 二色と初浪と角より引

㉔ 送り 二色と二色と二色と

㉕ 代内 二色と二色と二色と

二色 二色

ねの式端 代合四百拾五女

二色 二色 代合八拾八女

二色 二色 代合八拾八女

右ねの二色と左ねの二色

二色 二色 浪 二色

二色 二色 浪 二色

二色 二色 浪 二色

二色 二色 浪 二色

二色 二色 浪 二色

二色 二色 浪 二色

七拾八女と小くけ 五百五拾五女

代内はく右と武百六拾五女

二色と武百九拾五女

二色と武百九拾五女

二色と武百九拾五女

二色と武百九拾五女

二色と武百九拾五女

二色と武百九拾五女

二色と武百九拾五女

二色と武百九拾五女

二色と武百九拾五女

二色と武百九拾五女







代積百拾分を必きてき  
紐くくして又き紐元  
しき紐と用て

△米二石大豆を石代百分  
くのどく一色二紐の綱  
とあり米を石八斗以後大  
豆を石とく又後米二石に  
あて大豆三石半とく  
角かと引繰り又石とく  
列二又大豆三石半と後  
く代百分より後く大豆二石  
とあり代百六十分より角  
かと引繰り百八十目とあり  
石は法にえ石除得二十分  
是則米を石代也

又たて好と美本く例と  
用り時いぬれ記也

石 三 一 〇 一  
代目

中 〇 三 一 一  
代目

丸 一 〇 三 一  
代目

ちくよく米二石とたれ  
一圓して石一仍と重載と  
また米の重た重の一石と  
負まの重一八石代限と  
百目又是一中の大豆二石  
と國中一仍とて重の減と

色足七領二付 全六両

上馬七付 全貳両二分

小荷結七付 全貳両二分

法中へ上る三疋と終の上馬六

疋より引繰り上る三疋又

中の小荷結七疋と終り小荷結八

疋より小荷結九疋と終り中へ色

足一疋と終り色足六疋より引繰り

色足四疋と終り中へ今遠足はれ

終り今三疋小荷結九疋色足四疋

今三疋不足也

扱又は扱扱と終り

上馬六疋より終り小荷結八疋より

終り具足六疋より今三疋より

今三疋より扱上馬九疋小荷結十七

疋色足九領今六疋とありと

是より扱り上る六疋とありと上る

十四疋と扱又扱り小荷結十三疋と今

又今小荷結十七疋と角より引繰り

小荷結四疋と扱又扱り色足貳疋と

今三疋より色足九疋の内より色

結り色足七疋と扱又扱りあまる



